



千年村チェックリスト Ver.2.3

千年村チェックリストは、環境・地域経営・交通・集落構造の観点から、自ら住む地域についての自己評価を行うことができます。それぞれの項目や、最終ページの自己評価方法までの一連のフローは、2012年より正式に活動した千年村プロジェクトの実地調査による知見を反映したものです。今後、このチェックリストを利用した千年村認証活動も行う予定です。

※チェックリスト記入マニュアルや、過去の事例を参考に記入して下さい。

※記入の際は、個人だけでなく複数人で相談することを推奨します。

※提出の際には必ず自治会長など集落を取り仕切る方の確認を取ってください。

※固有名詞などはできるだけ具体的に記入してください。

※出典は必ず明記して下さい。

※用途以外での千年村チェックリストの無断使用・無断転載は禁止します。

2017.03.31 千年村プロジェクト

— — — — — 以下、記入欄 — — — — —

○記入者情報

代表者（自治会長など）

ふりがな
氏名： _____

肩書： _____

連絡先住所： _____

連絡先： _____

代表記入者 ふりがな 氏名： _____ 所属： _____ 連絡先： _____

記入者2 ふりがな 氏名： _____ 所属： _____

記入者3 ふりがな 氏名： _____ 所属： _____

記入者4 ふりがな 氏名： _____ 所属： _____

0 集落の概要

集落の名称	現在の地名（大字） <small>かな</small>	歴史的地名（参照した古文書の名称とその成立年代） <small>かな</small>
所在地	大字まで書いて下さい。 <small>かな</small>	
面積	(年度) 人口 km ²	(年度) 世帯数 人
合併の歴史	(年度) 世帯	
地域の記録	年月日、地域の名称の変化など、分かる範囲で書いて下さい。	
	○○村史、○○市史など地域の記録はあるか（対象大字より広範囲のものでも可）。その発行年・著者。	

集落の地図（Google Maps などから）

大字領域の明示をして下さい。

必要に応じて関連項目の位置を図示して下さい。

I 環境 – 自然とのつきあい方–

番号	ポイント	
①	集落のかたち・立地 古いところ	例) 古い集落はどんな地形に立地しているか。どこの水系に属しているか。また、街道やみなどとの関係はどうか。旧河道はどこを通過しているか。
②	生産地(農地や工場など) の立地	例) 農地、工場、商業地、漁業、林業などはどこに立地しているか。圃場整備の範囲はどこか。工場、商業地がいつできたか。耕作放棄地や空地がどこにあるか。旧河道はどう利用されているか。
③	主要産業・特産物	例) 現在の主要産業は何か。働き先はどこか(集落内外)。かつての主要産業は何か。特産物はあるか。
④	水源と水の引き方	例) 農業用水の水源は何か。生活用水の水源は何か。井戸が残っているか。地域内の水路はどこを通過しているか。
⑤	近年の土地開発について	例) 昭和 40～60 年代、平成、最近 5 年程度に行われた開発はそれぞれどこか。開発前の土地利用は何か。開発によって商業、交通などどんな変化が起きたか。
⑥	過去の災害とその対策	例) 災害危険区域はどこか(ハザードマップなど)。過去、どのような災害があって、どこに逃げたか、その協力体制。どのような災害を心配しているか。集落内の安全な場所と危険な場所。
⑦	その他	自由記述・図示など。

II 地域経営 — 集落を支える仕組み —

番号	ポイント	
①	各種組織	例) 行政区、町内、班といった地域的な組織の構成および目的別の組織（消防団、氏子、講など）にはどのようなものがあるか。可能な限り連絡先を記入して下さい。
②	地域内での情報伝達、連絡の方法	例) 地域内での情報の共有や連絡はどのように行われているか。（回覧板・ウェブサイト（URL）・公民館便りなど）
③	山林、里山また湖などの管理主体	例) 地域に共有性のある土地利用（入会地など）が行われているところはあるか。その利用主体の組織はどのようになっているか。
④	水の管理主体	例) 水門、水路などの水利用施設の維持管理を行う組合、組織はあるか。農業用水以外の水利用に関わる組織はあるか。
⑤	地域祭礼・年中行事	例) 祭礼についてその概要や成立時期、祭礼と地域住民の関わりはどうか。また地区対抗運動会など地域が参加する年中行事はあるか。
⑥	地域の歴史・物語の伝承	例) 地域の歴史や物語などを伝える活動、組織（郷土史会、歴史遺構の広報活動など）はあるか。可能な限り連絡先を記入して下さい。出版物には出版年・著者などを記入してください。
⑦	口伝・通称の地名	例) 住所表示や地図には存在しないが地域で共有されている場所（山、集落、田、川など）の呼称、通称地名はあるか。（フリガナをつける）
⑧	その他	自由記述・図示など。

Ⅲ 交通 一人とモノの往来

番号	ポイント	
①	昔からの道	例) 古くからある道で名称、種別、用途、起源などがわかるものはあるか。また、どこにつながっていたか、主に何を運んでいたか。
②	現在の主要な道路	例) 現在の生活の中で主に使われている道はどれか。その名称、完成時期などとそれぞれの利用方法(〇〇へ行く道、集落内移動、さんぼなど)
③	建設予定の道路の有無	例) 地域に影響がありそうな道路の新規建設計画、拡幅などの改良計画はあるか。その名称、完成予定時期、目的、また集落の存続に与える影響など。
④	水運の有無と利用法	例) かつて使われていた水上交通(川、堀、河岸、港など)はあるか。それらは、どのように使われていたか。今はどうか。
⑤	鉄道の有無、 その経緯と現状	例) 地域に関わりのある鉄道はあるか。廃線になったものも含めて、その路線、駅、主な用途、時代的变化などはどうか。
⑥	その他	自由記述・図示など。

IV 集落構造 — 集落の骨格 —

番号	ポイント	
①	集落の核	例) 古いと言われている場所、集落の起源とされている場所はどこか。皆が中心だと思える地区、寺社、本家などは、どれでどこにあるか。
②	墓地の場所と現状	例) かつての埋葬地はどこか。墓地はどこか。その成立時期、管理方法（一族的管理、宗教施設による管理など）に特徴があるか。
③	集落の維持について	例) 道、石積み、建物などの建設に携わる専門職はいるか。在来工務店はあるか。地場的な素材利用はしているか。
④	文化・自然遺産の有無	例) 遺跡や旧跡、古民家、古さを示す自然物（御神木など）、古くからある土木構造物はあるか。その年代はいつか。
⑤	集落の型	例) 集落のかたち。地形や水路との関係はどんなふうか。集落内の民家、敷地に共通点はあるか。○○造り等の名称はあるか。（可能であれば図示）
⑥	暮らしの工夫 村での発明	例) 集落における面白いモノの利用（独特な軒下の形、水場の使い方など）、そのための小さな発明。修繕のしかたなど。
⑦	その他	自由記述・図示など。

自己評価

これまでのチェックリストを振り返り、環境・集落構造・地域経営・交通の各要素について以下の3段階評価を行ってください。
そして、その理由を記述して下さい。また、自己評価をもとに、集落についての総合評価を行ってください。

○自己評価：A・・・優れている B・・・やや優れている W・・・弱い

要素	自己評価	理由
環境		
地域経営		
交通		
集落構造		

総合評価

自己評価をもとに、この集落がなぜ千年村であるか、どのような点で千年村として優れているのかなど、自由に記入して下さい。
また、それらが千年村認証基準のどの項目を満たしているか記入して下さい。

キャッチフレーズ

集落のキャッチフレーズづくりに挑戦してみましょう。これまでの記述を踏まえて、この集落の持続要因を一言で表してみてください。

集落の写真など

受付日：

認証日：

認証代表者：